



平成 27 年 7 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ピクセラ
代表者名 代表取締役社長 藤岡 浩
(コード番号 6731)
問合せ先 取締役 池本 敬太
(TEL 06-6633-3500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 11 月 13 日に公表いたしました平成 27 年 9 月期（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 27 年 9 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,435	183	138	130	9.46
今回修正予想 (B)	3,445	△110	△135	20	1.36
増 減 額 (B-A)	△990	△293	△273	△110	
増 減 率 (%)	△22.3	—	—	△84.6	
ご参考：前期実績 (平成 26 年 9 月期)	3,012	△500	△557	△492	△38.13

2. 修正の理由

連結子会社の株式会社ピアレックス・テクノロジーズを売却したこと、固定回線事業者や通信キャリア向け製品の売上が鈍化していること及び第 3 四半期に予定していた新製品の出荷が来期にずれ込む見込みとなったこと等により、売上高、利益ともに前回予想数値を下回る見込みとなりました。

当初の予想では、子会社の売上 6 億円、営業利益 7 千万円を見込んでおりましたが、第 2 四半期末での売却により業績への寄与が半減いたしました。

また、固定回線事業者向け製品の売上は前年比 10%増で年間を通して堅調に推移することを想定しておりましたが、市場の飽和により下期から販売が減速し、納入調整のため 6 月から今期末までの間、出荷が見込めなくなった結果、前年比 20%減となる見込みとなりました。さらに、当期より販売を開始した通信キャリア向け製品につきましても計画比 20%の未達となっており、当第 3 四半期に予定しておりましたテレビキャプチャーの新製品の売上、約 1 億円につきましても出荷が来期にずれ込むこととなりました。

一方、子会社の売却益 7 千万円があったものの、当期より行っております事業構造改革は、当初見込んでおりました約 2 億円の経費削減には至っておらず、上記の売上の減少とともに利益面での下押し要因となりました。

※上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以 上